

科目名	実践ボランティア（サービスマーケティング）						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照				
開講期	秋学期	開講学部等	共通教育科目	配当年次	1 年次	単位数	2 単位
教員名	井上 泰夫						

授業概要／Course outline

「実践ボランティア（サービスマーケティング）」は、ボランティアやさまざまな社会貢献活動を通じて、その社会的意義や実態、地域社会における役割について学ぶとともに、体験を省察し、他者と共有することにより、体験を言葉に技法と意義を学びます。

本科目は、大学におけるボランティア活動支援および市民活動団体の運営に携わった実務経験を有する担当教員の指導・助言のもとに、地域で取り組まれているさまざまなボランティア活動、市民活動に実際に参加し、実践と省察のくりかえしを通じて学びを深めるサービスマーケティング科目です。

学内外で取り組まれている地域・他者に貢献するさまざまな活動に問題意識を持って主体的に関わっていくことにより、地域課題とその背景に対する気づきと理解を深め、課題解決に取り組む市民の意義や役割について体験的に学ぶことができます。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

実習

・アクティブ・ラーニング授業（形態：グループワーク／プレゼンテーション／実習，フィールドワーク）

30時間以上のフィールドワークを行い、そこでの体験や気づきをグループワークで共有します。

また、フィールドワークを通して得た学びをプレゼンテーションし、体験の言語化を図ります。

・実務経験のある教員による授業

ボランティアコーディネーターとしての実務経験を有する担当者が、社会貢献を通じて学びを深めるサポートを行います。

授業内容・授業計画／Course description・plan

本科目は、座学（教室での授業）と実習（現場でのフィールドワーク）を組み合わせた科目となるため、座学9コマと、30時間以上の実習（6コマに相当）で構成される、変則的な授業形態となります。

なお、下記のスケジュールは、活動の進捗状況に応じて変更される場合があります。その場合は、履修している学生に対して事前に説明を行います。

第1回（10月1日）「オリエンテーション」

- ①本科目の説明、進め方の共有
- ②本科目における「学び方」について
- ③【講義】ボランティアとは何か

第2回（10月8日）「事前学習」

- ①受講生相互の交流および相互理解のためのグループワーク
- ②ボランティア活動に求められる心構えとマナーについて
- ③活動記録のとりかたについて

第3回（10月22日）「目標設定」

- ①活動の目標と「学び」の目標設定
- ②【講義】ボランティア活動から「学ぶ」とはどういうことか

第4回（11月5日）「ボランティアについて学ぶⅠ」（グループワーク）

- ①社会におけるボランティアのさまざまな役割について学ぶ
- ②ボランティア活動の多様性について理解する

ボランティア活動Ⅰ（前半）（フィールドワーク、3コマに相当）

- ①地域・他者に貢献するさまざまな活動への参加・参画
- ②大学で学んでいる専門的知識を応用した地域社会への貢献

※ボランティア活動は、Ⅰ・Ⅱあわせて30時間以上必要です。

活動時間には、活動にかかる準備や片付け、「オリエンテーション」や「ふりかえり」の時間も含まれます。

第5回（11月19日）「中間ふりかえり」

- ①活動の前半をふりかえっての悩みや課題の共有
- ②進捗状況や問題意識の変化をうけての目標の修正・再設定

ボランティア活動Ⅱ（後半）（フィールドワーク、3コマに相当）

- ①修正・再設定された目標をもとにした活動への参加・参画
- ②大学で学んでいる専門的知識を応用した地域社会への貢献

※ボランティア活動は、Ⅰ・Ⅱあわせて30時間以上必要です。

活動時間には、活動にかかる準備や片付け、「オリエンテーション」や「ふりかえり」の時間も含まれます。

第6回（12月10日）「ボランティアについて学ぶⅡ」（グループワーク）

- ①ボランティア活動における先駆的な取組について学ぶ
- ②ボランティア活動の可能性について理解する

第7回（12月24日）「事後学習」

- ①活動を通じて得られた「学び」の検証
- ②活動における「気づき」の応用

第8回（1月7日）「活動報告」（プレゼンテーション）

活動ごとに、個人でのプレゼンテーションを行います。内容は主に以下の3点です。

- ①ボランティア活動において、どのような成果をあげたのか
- ②事前に設定した目標をどのように達成したか
- ③活動を通じ、どのような「学び」と成長を獲得したか

第9回（1月14日）「まとめとふりかえり」

- ①活動報告に対するフィードバック
- ②活動から得た気づきの「学び」への応用

事前・事後学修／Preparation and assignments

授業に求められる事前学習および事後学習は、下記のとおりです。

なお、事前学習は各授業2時間、事後学習も各授業2時間必要ですので、下記内容を確認し、しっかりと事前・事後学習に取り組んでください。

第1回（10月1日）「オリエンテーション」

- 【事前学習】Postに掲出した「受講ガイド」を精読しておくこと
- 【事後学習】希望する活動先のホームページ等を参照し、活動について調べておくこと

第2回（10月8日）「事前学習」

- 【事前学習】活動先がテーマとする社会的課題について調べておくこと
- 【事後学習】自分自身の「ボランティア観」を整理しておくこと

第3回（10月22日）「目標設定」

- 【事前学習】受入先でのオリエンテーションの内容をまとめておくこと
- 【事後学習】初回の活動に向け、設定した目標をの活用方法を考えておくこと

第4回（11月5日）「ボランティアについて学ぶⅠ」

- 【事前学習】事前に指定する資料を読み込んでおくこと
- 【事後学習】学んだ内容を自身の実践にどうかすのかをまとめておくこと

ボランティア活動Ⅰ（前半）（3コマに相当）

- 【事前学習】各活動前に、活動を通じて自分自身の問題意識を先鋭化させておくこと
- 【事後学習】各回について実習記録をつけ、受入担当者に確認をとること

第5回（11月19日）「中間ふりかえり」

- 【事前学習】実習記録を確認し、まとめておくこと
- 【事後学習】ふりかえりを通じて得た気づきを次回の活動にどのように活かすか考えること

ボランティア活動Ⅱ（後半）（3コマに相当）

- 【事前学習】各活動前に、活動を通じて自分自身の問題意識を先鋭化させておくこと
- 【事後学習】各回について実習記録をつけ、受入担当者に確認をとること

第6回（12月10日）「ボランティアについて学ぶⅡ」

【事前学習】事前に指定する資料を読み込んでおくこと

【事後学習】学んだ内容を自身の実践にどうかずのかをまとめておくこと

第7回（12月24日）「事後学習」

【事前学習】実習記録を確認し、まとめておくこと

【事後学習】ふりかえりから導き出された気づきを報告にまとめること

第8回（1月7日）「活動報告会」

【事前学習】活動のまとめと自身の学びを報告として整理すること

【事後学習】活動報告会で受けた指摘をもとに、再度活動を見直すこと

第9回（1月14日）「まとめとふりかえり」

【事前学習】自身が所属する学部・学科のシラバスを精読すること

【事後学習】それぞれの専門的学修への応用を検討すること

授業の到達目標／Expected outcome

- ・地域課題の解決に主体的に関わることにより、社会問題への認識を深めるようになること。
- ・課題解決に取り組む市民との出会いを通じ、市民性【citizenship】を高めること。
- ・地域社会において「学び」の成果を応用することで、専門的学修への意欲を高めること。
- ・受講生相互の交流を通じ、チームワーク、リーダーシップとメンバーシップを育むこと。
- ・自らの「学び」と成長を検証する過程により、自己を正しく評価する力を身に付けること。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- ・思考力
- ・幅広い教養

履修上の注意／Special notes, cautions

＜履修にあたって＞

- ・本科目は、ボランティア活動そのものに単位を付与するものではありません。活動を通じてどのような社会的課題に気づき、どのような「学び」を得たかを重視します。
- ・本科目は、ボランティア活動に参加したことがない学生でも履修が可能です。

＜ボランティア活動について＞

- ・ボランティア活動先については、いくつかのコースを提示します。
- ・ボランティア活動の分野・スケジュールは、9月上旬にPOST上でみなさんにお知らせします。
- ・上記のコースの中から、自分自身の興味関心や専攻領域、特技等に応じて活動を選択します。
- ・活動先の選定にあたっては、担当教員と事前に相談をすることが可能です。

＜活動上の注意＞

- ・ボランティア活動は、Ⅰ（前半）・Ⅱ（後半）あわせて30時間以上必要です。
- ・ボランティア活動中に事故や重大な問題が発生した場合は、受入先の判断を仰ぎ、担当教員と情報を共有してください。
- ・活動上の悩みや相談については、担当教員だけでなく、ボランティアセンターでも相談することが可能です。

評価方法／Evaluation

活動記録50%（日誌を中心とし、受入先の評価も含みます）

活動報告50%（活動報告会の発表に加え、中間ふりかえりなど座学における態度・姿勢を含みます）

教 材／Text and materials

＜教科書＞

指定しません。

受講のうえで下記が参考になります。

＜図書＞

- ・桜井政成、津止正敏『ボランティア教育の新地平』（ミネルヴァ書房、2009年）
- ・岡本栄一『学生のためのボランティア論』（大阪ボランティア協会、2006年）
- ・マージット・ミサンギ・ワッツ、サラ・コナリー『関係性の学び方』（晃洋書房、2010年）
- ・大阪ボランティア協会『基礎から学ぶボランティアの理論と実際』（中央法規、1997年）

＜ホームページ＞

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 京都産業大学ボランティアセンター・ 京都市市民活動総合センター・ 京都市社会福祉協議会 | <ul style="list-style-type: none">http://www.kyoto-su.ac.jp/campuslife/volunteer.htmlhttp://shimin.hitomachi-kyoto.jp/http://www.syakyo-kyoto.net/ |
|---|---|

質問や相談の方法／Instructor contact

担当教員は学内のボランティアセンターに勤務しているため、平日の8:45-13:00、14:00-16:30の間で質問・相談に対応します。

ただし、行事等で不在の場合もあるため、メールや電話等で事前にアポイントメントをとることを推奨します。
オンラインでの相談対応も可能です。その場合はまずメールで連絡をとり、指示を受けてください。

その他／Others

※ボランティア保険（300円/実費）の加入が必要です。

※授業および活動について質問や相談がある場合は、ボランティアセンター（13号館B1階）を訪問してください。